

第 40.回 日本鼻科学会 (平成 13 年 9 月 27 日・28 日・29 日 宇都宮東武ホテルグランデ)				
会長 馬場 廣太郎 (獨協医大)				
特別講演およびそれに準ずる講演	シンポジウム	パネル	テーマ指定演題	一般演題数 (テーマ指定演題を含む)
<p>特別講演 1</p> <p>司会 茂木 五郎 (大分医大)</p> <p>「免疫療法あれこれ-20 世紀から 21 世紀へ-」</p> <p>石川 哮 (熊本大名誉教授)</p> <p>特別講演 2</p> <p>司会 坂倉 康夫 (三重大名誉教授)</p> <p>「花粉症の研究から」</p> <p>奥田 稔 (日本臨床アレルギー-研究所)</p> <p>第 8 回日本鼻科学会賞受賞記念講演</p> <p>司会 夜陣 紘治 (広島大)</p> <p>「ヒスタミンが粘膜上皮細胞に及ぼす影響」</p> <p>竹内 万彦 (三重大)</p> <p>招待講演</p> <p>「Ten Thousand Cases of Endoscopic Sinus Surgery」: Clinical Outcome of a Twelve Years Experience</p> <p>朴 載勲 (HANA NOSE INSTITUTE)</p>	<p>サテライトシンポジウム</p> <p>「副鼻腔自然口開放処置の重要性」</p> <p>司会 馬場 駿吉 (名市大名誉教授)</p> <p>竹中 洋 (大阪医大)</p> <p>1. 副鼻腔自然口の臨床解剖と処置上の留意点 (特に中鼻道を中心に)</p> <p>江崎 史朗 (大森赤十字病院)</p> <p>2. 中鼻道と副鼻腔のエアロゲイミックス-YAMIK 法を用いた水溶性造影剤の副鼻腔への移行-</p> <p>深美 悟 (獨協医大)</p> <p>3. 副鼻腔自然口開放処理の有用性について (細菌学的検討とセラピューティックの到着度を中心に)</p> <p>鈴木 元彦 (名市大)</p> <p>4. 中鼻道開放処理の有用性についての臨床的検討</p> <p>寺田 哲也 (大阪医大)</p> <p>5. 副鼻腔自然口開放処置の有用性とその評価 (多施設における検討)</p> <p>木村 有一 (福井医大)</p> <p>シンポジウム 1</p> <p>「鼻アレルギーに対する免疫療法の将来」</p> <p>司会: 岡本 美孝 (山梨医大)</p> <p>大久保 公裕 (日本医大)</p> <p>1. 免疫療法によるアレルギー性鼻炎の治癒</p> <p>鷺尾 有司 (大阪市大)</p> <p>2. 鼻アレルギーに対する舌下抗原特異的免疫療法</p> <p>大久保 公裕 (日本医大)</p> <p>3. ヒト化抗 IgE 抗体療法</p> <p>大田 健 (帝京大 内科)</p> <p>4. ペプチド免疫療法の現状</p> <p>後藤 穰 (日本医大)</p> <p>5. サイトカインを利用した鼻アレルギーの免疫療法について</p> <p>松岡 伴和 (山梨医大)</p>			

